

令和2年3月12日 3月定例会

建設産業委員会 請願第4号審査・採決

委員長：これより審査を行います。ご意見は御意見はございませんか。掛布委員。

掛布委員：私からお願いしたいと思います。今の陳述人の熱心な思いというのが、署名の数の重さと比例しているなと思います。

議員の役割として、やはり市民の皆さんの思いをちゃんと聞き届けて、耳を傾けて、どうしたらその願いの実現のために働いていけるかという、その願いを市政に届けていけるか、その活動するのが議員の一番の原点、議員の仕事の一番大切な部分かなと思います。

市が無理と言っている状況で、今1万筆超える請願が出てきているわけですので、市が無理だって言うんだったら、じゃあ議会も無理だねじゃなくて、市が無理と言ってるんだけども、じゃあ議会に託された思いをどうやって議員として受け止めて、市に働きかけて、どうやったらできるかということで、知恵を絞っていくのが、議会の我々に課せられた市民からの、今突きつけられているこの請願の重みだと思います。

できるだけのことをがんばって、議会としてやってこの請願に答

える結果を出していきたいな、そういう思いで是非紹介議員として、皆様には是非採択していただけるようお願いしたいと思います。

陳述人からも言われましたけれども、2025年問題という、後期高齢者が急増する時期がもうまじかに迫っております。そうなってくると、あちらこちらで一斉に免許を返納しないといけない方が、続々と出てまいります。

特に後期高齢者で女性の方というのは、免許の保有率が低いです。御主人が車に乗れなくなったとか、病気になったりすると、いまのところはなんとかなっているけども、もう1人になってしまうと、もうまったくどうしようもなくなってしまいます。それが刻々と近づいているということ。

いろんな巡回バスをめぐるいろんな運動をしてきて、いろんなところの事例に関わってきているんですけども、やはり、江南市のようなところで、よしやるぞということで、巡回バスの路線を決めて走らせて、すぐにいいものができるはずがないと思っています。どこでもそうなんですけど、少しずつ、少しずつやりながら、試行しながら、いいものをつくり上げていく、地域の方の意見を聞きながらつくり上げていく、地域の方の意見を聞きながらつくり上げていく、その期間が4年、5年、6年とかかりますので、そういった意味で

2025年問題に間に合わせる、その時に江南市にちゃんとした安くて、
便利な公共交通が実現している状況をつくり出すには、もういま決
断してほしいな、そういう思いの1万筆の署名だと思imasるので、
是非この重みを受け止めていただいて、採択をお願いしたいと思
います。

委員長：田村委員お願いします。

田村委員：ちょっとお聞きしたいんですけど、地区別と...

委員長：質疑はないです。意見を申し上げます。

田村委員：私もいま40代で、あと30年経てば同じ70になります。
同じく、足の事は考えますが、じゃあ30年後にどのような社会にな
っているかということをきちんと見据えながら、いまのことも大事
ですけど、いまの40代の者として、先を見据えた公共交通の在り方、
巡回バスだけではないという意味です。考えなくてはならないと思
っていますので、そのことを念頭におきながら御判断させていただ
きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

委員長：採択か、不採択かどちらかを御意見として。

田村委員：改めて、採択かについては先ほどのことも合わせまして、
まだ時期尚早、議論を尽さなければならないということもあると思
っておりますので、見送りにさせていただきたいと思imas。

以上です。

委員長：不採択ということでよろしいでしょうか。

田村委員：はい。

委員長：不採択ということでね。

鈴木委員。

鈴木委員：先ほどの陳述人の方から聞きましてですね、巡回バスの本当に思いは分かるんです。私もそういったことを望んできた議員なんですけども、現状ある中ではいこまいCAR、これをいま料金も含めて、もう少し利用しやすい方法を考えていくという考え方が現実的にあるし、この巡回バスをいま走らせるにしても、どちらかを選択しなくちゃいけないという、そういった問題もあったりして、非常に巡回バスをすぐ走らせよという項目もあるんもんですから、少しその部分を含めてですね、私としては、このいこまいCAR、あるいは名鉄バスというものをですね、もう少し市民が利用しやすいような、またそれを側面的にですね、支援できるような、そんな考え方。それから、先ほど話もあつたんですが、江南市の中でも、市民の方でも、それぞれ考え方が違うわけなんですよ。地域によって公共交通がそれなりに来ているところはそこまで言われない。ですから、先ほどもあつたように、空白地域、私もそういう地域な

んですけれども、やはりそういったところは、地域でそうした、地域版の地域バスというか、そうしたことを取り組むところもありますので、そうした方向でですね、一つ考えていく必要があるというふうに考えておりますので、この巡回バスの考え方には理解するところではございますが、この請願まではちょっとまだ保留というか、まだこれは不採択という格好が適切ないま状況じゃないかとかこのように理解しているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

委員長：宮地委員。

宮地委員：この請願に本当に1万590名という方の署名を集められたのは、本当に御苦勞様でございます。

私も以前建設産業委員会の委員長をやらさせていただいた時に、公共交通の見直しというか、公共交通を考えるということで、特別委員会ができて、その中で一生懸命勉強させていただいて、また、一宮とか日進、小牧等いろいろと勉強させていただいた結果、市の方にもやはりその時の現状以上の公共交通をもっと便利してほしいかな、利用者の方の立場になってやはり考えてほしいという、市の方に一応出させていただいたんですけど、まとめて。

その経緯があつてあれなんですけど、いま本当に巡回バスは必要

だと思いますけども、やはり市の財政、また巡回バスが100%これが、交通弱者に対して、100%巡回バスが有効かどうかというのはまだ疑問視されるものですから、私としては。

やはりいま交通弱者、足腰の不自由な方はやっぱり玄関から玄関、ドア・ツー・ドアということで、いこまいCARというのは本当に便利なシステムだと思っております。

ただ、先ほどのお話を聞いていると、料金的にちょっと高いんじゃないか、また市民の立場となった場合、負担がちょっと厳しいという意見もいまお聞きしてはいますが、やはりいま現状これで巡回バスを走らせた場合、またバス停まで足腰の悪い方どうやってじゃあそこまで行くんだということになると、またいこまいCARを使おうということになるか、結果どういうふうになるか分かりませんが、やはり全ての交通弱者のうちの前を走る訳にはいかないもので、やはりこれはいろいろともっと検討しなきゃいけない部分かなり出てくると思うんですね。

ですから、私としてはもう一度、前私もやらせていただいたんですけども、建設産業委員会かあるいは、なんらかの形で、前は公共交通を考えるということで、見直しということで委員会をつくったんですけども、今回もし名称を変えられるんだしたら、巡回バスを

走らせる何とか委員会とか、例えばですよ。仮称ですけども、そういった委員会で検討をこれからじっくりしていったらいいんじゃないかなあと私は思っております。

そして、いまの巡回バスの請願に関しては、私はまだ、いまの江南市の財政、また他いろいろ検討することがあるかと思imasので、やはり時期がまだ早いということで不採択の方に私は思いは強いです。

委員長：ありがとうございます。

次堀委員お願いいたします。

堀委員：大変いろいろ御意見をお聞きいたしまして、非常に勉強になりました。ありがとうございました。

実はですね、各委員が言って見えますように、江南市の財政というのは非常に厳しいものがありましてね。今年度、前年度、前々年度、一昨年がですね、シーリングと言って、各部各課全部3%減らすというような、一昨年、去年、前年度も3%減らすと。今年度におきましては実に5%減らせ。そういう状況なんですね。

同時に、岩田さんは御存じだと思うんですが、財政調整基金と言って、江南市のいわゆる預金。これはいざという時に使うお金なんですが、5年前までは、28億円あったんですが、ことしの4月に約

6億円か8億円ぐらいになってしまっているんですね。

20億強その預金を使っちゃっているんです。それぐらい財政状況が厳しいのに、いろんな大きなプロジェクトがかかっているんです。鉄道高架、それから新図書館ですね、それからごみ処理場、それから給食センター。これも早急に建てかえなければなりません。

そういうような事で、現在の江南市の財政状況、県からも指摘されておりますが、30億円程度に戻すまでしっかりと財政調整基金をふやせというような指示も受けておるようであります。

ですからそういうようなことが達成できるまで、しばらくこの巡回バスはですね、やっていただければ私もこれは基本的には賛成でございますので、ですが現在の大きなプロジェクト掲げておる、江南市を見ましては、少しでも財政がしっかりといくように、ということ、特に土木の方の費用で、年間の費用、これが最低でも3億円いるんですけども、1億5,000万しか予算がつけられない。去年なんかは、9月の補正予算で1億5,000つける予定であったのが、ゼロです。なしです。そういう状況なんですね。ですからそういうことも是非御理解をしていただきたく、私もちょっとこの巡回バスにつきましては時期尚早ということで、不採択というような形をお願いしたいと思います。

委員長：片山委員。

片山委員：確かに、金額がですね、巡回バスが走らせられるほどの正確な金額というのをちょっと私試算でまだ見ておりませんのですね、あとはそのランニングのコスト的なところですね。そここのところですね、国から、県から後はいろんなところの助成金がどうなのかなっていうところを見させていただいてからじゃないとちょっと私答えが出しにくいんですね。

ただ、巡回バスに関して私は必要だとは思っています。それで、みよし市のようにですね、いこまいCARみたいなタクシーとバスを両立できる、やっぱりドア・ツー・ドアとそれから巡回バスも両方とも乗れるというのが一番ベストだと思っておりますので、私は自動運転のバスができた時には非常にベストかなと思ったんですけども、気持ちとしては、先ほど言ったみたいな数字を見させていただくと、いった条件付きで賛成ですね。

委員長：どうぞ。他に。

掛布委員：一回り伺っていて感じたことですが、巡回バスは必要かと思うけれど、時期尚早で不採択というような御意見の方もいらっしゃるように思うんですけど、これだけの市民の思いを受け止めて必要だと思うけど時期尚早だったら、例えば継続審査にして、官

地委員さんがおっしゃったようにじっくり議会として責任を持てる結論を出すまで、検討していくと、その上で結論を出していくと。

やはりいまの、市内、県内、あるいは全国の巡回バス、コミュニティバスをめぐるどんどん変わっていつている状況に、残念ながら江南市の市政も議会も着いていつていないじゃないかなと私は思っています。もっともっと色々な事例を勉強して、財源問題も出されましたけれども、3月議会で私一般質問させてもらいましたが、赤字分の8割は特別交付税で返ってくるんですよ。ちゃんとその制度もあるし、それを県の方も、江南市の財政当局も認めている答弁をしているわけですから、やっていけば持ち出し分の8割は確保されるというそういう制度があるわけですから、それを利用していかないと、他の自治体が使っていくだけということになります。

いこまいCARをもっともっと便利にしていけばそれはそれで回っていくんだっいたらいいんですけど、現状、今でもいこまいCARを頼んでも予約を断られたりとか、一般のタクシーを頼んでもいこまいCARでいっぱいだからと断られる状況が起きてきています。この先どんどん免許返納者がふえて、いこまいCAR、いこまいCARって言っていたら、タクシーの台数が足りなくなっているんですね、現時点で。ですからこの先も、いこまいCAR頼みでやって

いくというのはもう現時点で限界になっている訳ですから、タクシーと巡回バスを組み合わせた、新しい、江南市にぴったり合った仕組みというのを検討していかないといけない。

だから即時期尚早だから不採択じゃなくて、時期尚早と思われて、巡回バスもいるかなと思われるんでしたら、ぜひ継続にさせていただいて、しっかり議会として結論が出るまで、見送っていただくという、そういうふうに、お願いできないかと、紹介議員として訴えたいと思います。

委員長：掛布委員は継続審査ということでよろしいですか。

※掛布委員：本当は、採択していただきたいわけですけど、見ると、不採択になっちゃいそうなので。(音声不良)

委員長：継続という審査を... (音声不良)

※掛布委員：継続... (音声不良)

※堀委員：決定なら決定で決めないと次、今日中に終わらせんよ。(音声不良)

委員長：はいどうぞ。

鈴木委員：掛布さんが言うのもよく分かるんです。私も。ただいまきょうもらって、ここで判断せよというのはですね、極めて無責任になると思うんですよ。だから、不採択にしろ、継続にしろね、少

しここで突き詰められても、求められても、少し回答できないですわ。

さっき言ったように、財源はどれくらいかかるのか。本当にやるんならこれくらい。そういう客観的なもの。それから、1万何名と大きなものもありますので、そういったもの。もう一度いままであった地域にあった声はどうだったかということを含めて、しないとちょっとここですぐここで出せというのは答えられない。

堀委員：継続じゃなくて、今回ここで審議したんだから、それで今の採決すればいいんですよ。継続にするにしても。

私は、まだ次の議会もあるし、次の議会もあるし、次の議会もあるし、そういう新しい情勢が変わってくる可能性もある。

いまずっと聞いてましてね、例えば犬山がなんか非常によかったというようなことを言ってみえる意見も聞きましたけれども、私の聞いた範囲ではやめたいばっかという意見もあるんですよ。

こういう意見もあるんですね。江南市に当てはめて、何台ぐらいバスがいるかなんてことも分かしませんし、それを運営していく上で、いくらぐらいかと、いま鈴木さんが言われた。そういうきちっと数字を出して、それで審議しないと、一方的な意見だけを聞いて審議するなんてことは無理ですよ、議会としてね。

委員長：どうぞ。

掛布委員：そういう風に、責任を持った結論が出せないということでしたら、今、不採択ということで請願を門前払いしてしまうのではなく、継続して議論を続けようと、それがいいと思うんですけど。

委員長：分かりました。御意見も尽きたようでございますので、これをもって請願第4号を採決いたします。

本請願を採択することに賛成の方の挙手を求めます。

(掛布委員、片山委員挙手)

委員長：挙手少数ですので、よって本請願は不採択といたします。

暫時休憩いたします。

(請願審査終了)

令和2年3月16日

江南市議会議長
稲山 明敏 様

江南市に巡回バスを走らせる会
岩田 富実雄
江南市高屋町中屋舗 138-2

建設産業委員会における請願採決のやり直しを求める申し入れ書

3月12日に開催された令和2年3月定例会の建設産業委員会における「江南市に巡回バスを走らせることを求める請願書」の審議経過について異議があるので再度の委員会審議を要請いたします。

請願の採決にあたり一委員から継続審議にするべきとの提案がありましたが、委員長はその提案に対して各委員に諮らず、また採決方法を諮ることもしないまま、いきなり請願の採決を行いました。これは委員会の議事運営上重大な瑕疵があるもので、到底認めることはできません。ぜひ当委員会の再審議を行い、継続審査を含む採決のやり直しを強く求めます。

以上